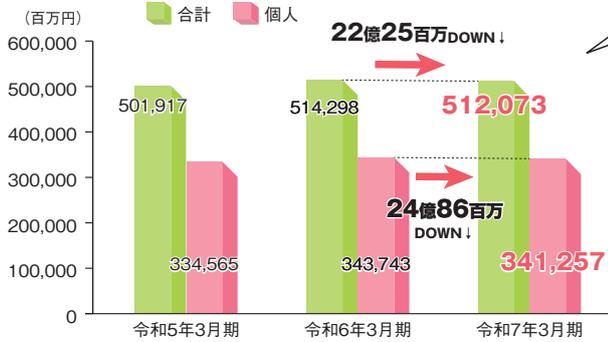




令和6年度の 業績ハイライト

預金・貸出金の状況

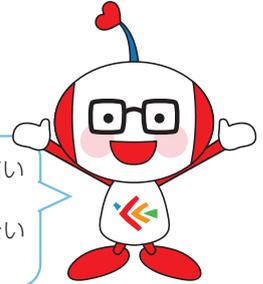
預金について



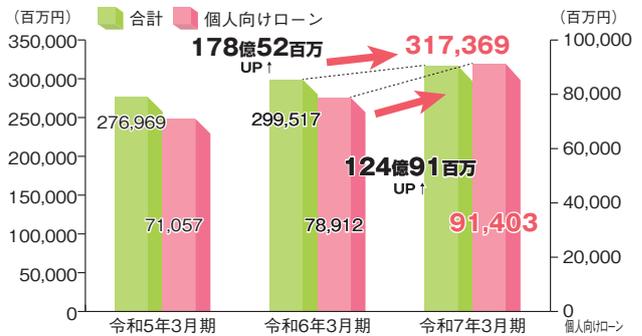
5,120億円
前年比▲22億円

Good!

預金積金は総額、個人預金ともに高い水準を維持しているよ！
地域のお客さまから継続して信頼をいただいている証だね。



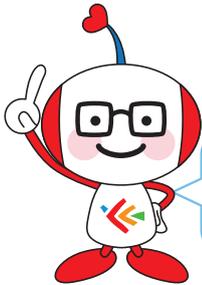
貸出金について



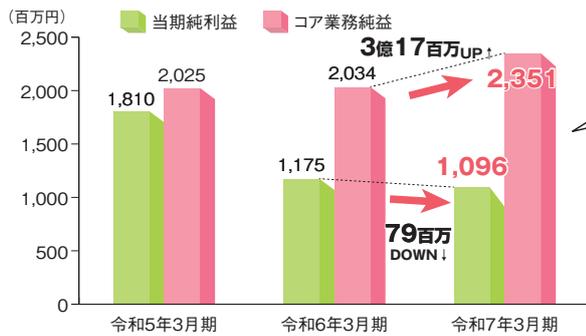
3,173億円
前年比+178億円

Good!

貸出金は、12期連続でアップしたよ！
個人のお客さまからのローン借入残高も大きく伸びているね。



収益の状況



23億円
前年比+3億円

Good!

コア業務純益は、融資推進による貸出金利息収入の増加のお陰で、昨年よりアップしたよ。



自己資本の状況



9.43%
前年比+0.39%

Good!

自己資本は、組合員の皆さまからの出資金や当期純利益などの積み上げの結果です。
けんしんの自己資本比率は国内基準の4%を大きく上回る水準を維持し、高い健全性を確保しているね！



資産の健全性について

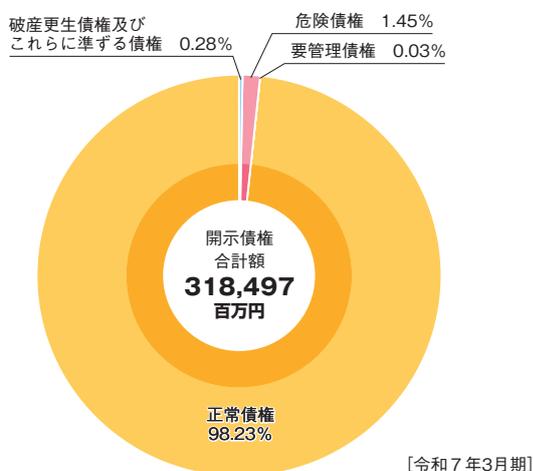
金融再生法上の不良債権比率と不良債権額の推移



お取引先の財務内容や経営状況等をもとに区分する資産の査定を行っており、この厳格な資産の自己査定の実施により、貸倒損失に備えた適正な引当金等を計上し、十分な保全を行っております。

なお、要管理債権(3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権)については、正常債権よりリスクは高く、その管理に注意を要するものですが、全てが回収不能債権となるものではなく、当組合による改善支援とお取引先の自助努力により、経営改善が図られるよう積極的な取り組みを行っております。

金融再生法上の開示債権構成比



用語解説

業務純益・コア業務純益

業務純益とは、金融機関が本来業務でどれだけの利益をあげたかを示す収益指標で、一般企業の「営業利益」に該当します。

コア業務純益とは、業務純益から一時的な変動要因を控除したもので、金融機関本来業務の収益力をより反映したものです。

$$\text{コア業務純益} = \text{業務純益} - \text{債券関係損益} + \text{一般貸倒引当金繰入}$$

自己資本比率

自己資本比率は、金融機関の健全性を示す重要な指標であり、貸出金や有価証券等のリスク資産(リスク・アセット)に対する出資金や内部留保、引当金等の自己資本の占める割合を示す数値です。国内のみで業務を行う金融機関は4%以上の水準を維持することが求められております。



主要な経営指標の推移

主要な経営指標の5カ年推移は次のとおりです。

(単位：百万円)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常収益	6,051	6,284	6,819	7,284	7,324
経常利益(損失)	573	728	1,842	1,546	1,296
当期純利益(損失)	386	681	1,810	1,175	1,096
預金積金残高	459,251	485,121	501,917	514,298	512,073
貸出金残高	251,755	270,149	276,969	299,517	317,369
有価証券残高	90,403	101,439	116,324	104,236	108,292
総資産額	531,078	543,350	538,357	539,896	537,745
純資産額	20,679	21,035	21,195	22,011	22,103
自己資本比率(単体)	8.95%	9.01%	9.20%	9.04%	9.43%
出資総額	13,491	13,938	14,091	13,969	15,359
出資総口数	134,915千口	139,384千口	140,917千口	139,695千口	153,596千口
出資に対する配当金	104	108	111	112	150
職員数	413人	401人	412人	399人	403人